

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

昭和 58 年に地質調査会社に就職し、建設コンサルタント業に携わってはや 27 年…。現在は道路防災を主とした調査・設計に従事しています。道路防災に関わったのは、前職の大手コンサルでの平成 8 年度道路防災総点検からです。当時は道路計画系の業務は初体験で、しかも、豊浜トンネル崩落事故をきっかけとした全国ベースの点検でしたので、求められる精度やスピードについて行くこと自体、体力的・精神的に相当の負担だったと記憶しています。その後も道路防災関連業務に携わり、点検のみならず、事業計画・道路計画など、行政的な部分にも参画することができ、道路部門での技術士受験のきっかけになりました。特に印象に残っているのは、人命が奪われた斜面崩壊事故の事故調査委員会に事務局として加わったことで、つらい思いは多々ありましたが、いろいろな方々と知り合えたことや、様々な分野に触れることができたのは、今でも貴重な財産です。

現在、建設関連業には逆風が吹いている社会情勢ですが、民間企業に従事している以上、基礎体力をしっかりと蓄えて社業を充実させなくてはなりません。そこで、自らの見識を「縦の糸」として研鑽し、官民・民民の一体的連携を「横の糸」として深めることで技術士的基础体力を充実させ、さらなる社会貢献を目指して行きたいと思います。

安井 宏也 (やすい ひろや)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社 ランド・ラボ
e-mail : h.yasui@landlabo.co.jp



→ 次号は、佐々木裕一さん(建設部門)

不肖、私の自己紹介、受験経緯を。自分は地元の小中学校時代、野球少年として名をはせる(?)。中学校を卒業後、高校は国立大医学部進学を目指し、故郷を離れ函館市の学校へ進学。しかし、才能はマズマズだったと自負するが、努力する才能が皆無(涙)。夢破れ地元斜里町の隣町、網走市へ就職する。

これまでの人生、野球も受験勉強もイイ線までくるものの、ツメが甘く失敗続き。地元斜里に舞い戻ったのは 30 才で、就職以来何となく悶々とした日々を過ごす。

「親の七光り」つまりは「世襲」で順調に出世(爆)。そんな折、高校時代の同級生(食品研究者)が技術士を取得。初めて「技術士」という資格と出会う。「これだ!!」過去の自分から脱却し、新たな一歩を踏み出すには格好の資格と感じ取得を目指す。

やはり才能はソコソコゆえ(笑)、1 次試験を難なく突破。2 次試験も初受験で 3 科目(経験・一般・専門)中、経験だけが B 判定。2 年目での合格を確信。しかしこれは大きな過信。それから一般だけ B、専門だけ B と曲芸のような不合格を重ねる(大涙)。最後に不合格だった年、驚愕の B・B 判定(初めて A なし)。ここで目が覚め、最後の力を振り絞り、一念発起し何とか合格を果たす。

今後もこの経験を生かし、何事も決して諦めず執念・努力を持って進んでいきたい。感謝感謝!!

土田 好起 (つちだ よしき)

●建設部門
(施工計画、施工設備及び積算)

勤務先

斜里建設工業 株式会社
e-mail : yoshiki@shariken.co.jp



→ 次号は、佐藤貴之さん(上下水道部門)